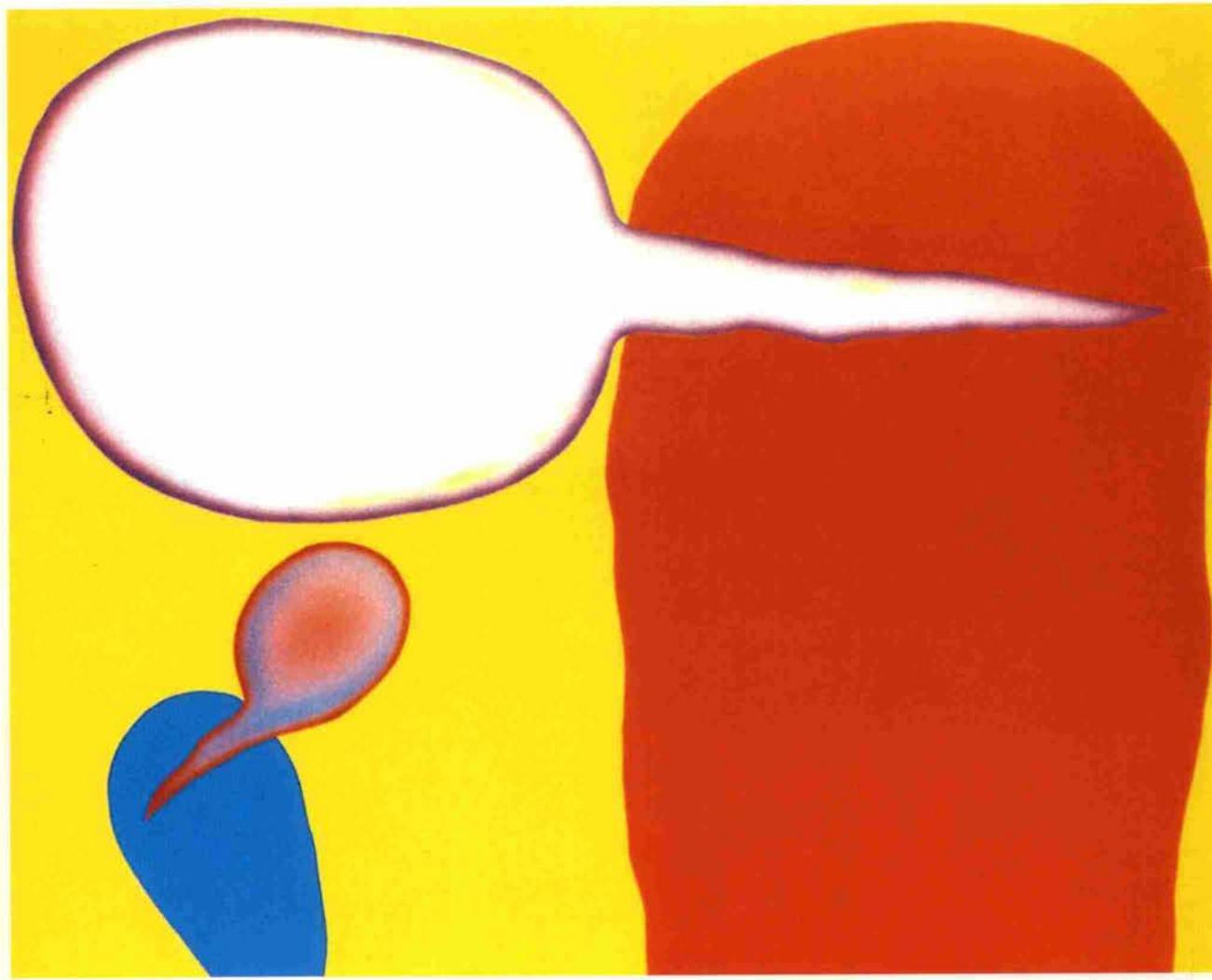


MONTHLY MAGAZINE

1999年2月1日発行(毎月1回1日発行) 第38巻第2号(通巻453号) 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECO

February'99 No.453 月刊 神戸っ子 2



★酒特集

鼎談 無駄ではなかつた“青春の酒”

大森一樹 植松奎二 榎忠

〈ゲストインタビュー〉町田 康

〈連載〉エッセイ 村松 友視 ショートショート 玉岡 かおる



PEARL COMMUNICATION


kinoshita
pearl

REFINE GIFT



洗練された、贅沢な味わい…REFINE GIFT

いつも変わらぬあの味、バラエティー豊かなお菓子の数々。自然の味を大切に、深みとコクのあるおいしさの和・洋菓子は、お世話になったあの方のライフスタイルを考えながら贈り物を選ぶことで、贈られる方の心もときめかせます。あなたの気持ちに華を添える心優しいギフトコレクションをお届けします。



エコルセ・チーゲル・モンロワ詰め合わせ…5,000円



エコルセ・チーゲル・モンロワ詰め合わせ…3,000円



エコルセ・チーゲル・果心庵詰め合わせ…2,500円



エコルセ・チーゲル詰め合わせ…2,000円

本高砂屋の和・洋菓子ギフトは

本高砂屋

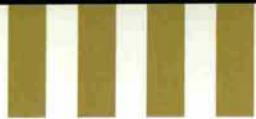
全国の有名デパートでお求め下さい。



*My Sweet
Memory*

JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078(331)5761



KOBE EXCELLENT FASHION

手づくり
お読み紳士服



英国エリザベス女王ご用達

“J&Jミニス” の最高級モヘア服地

「ロイヤル・プレミアム」今春3月に入荷します。

写真:竹中店長



撮影/米田定哉

KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…。

Sanohe

本店 神戸市中央区元町通2丁目5-7 TEL.331-4707
ス-ル^ル 神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE
Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店 TEL.391-0014
ピアノコ・ドンナ店 TEL.391-4601

★よろず御襯衣縫上處

神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168



Liza

神戸市中央区三宮町2丁目6-1 TEL.391-6806

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 (トアロード)
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごろ 最高の風格

Bespoke Boutique
欧風館
KOBE

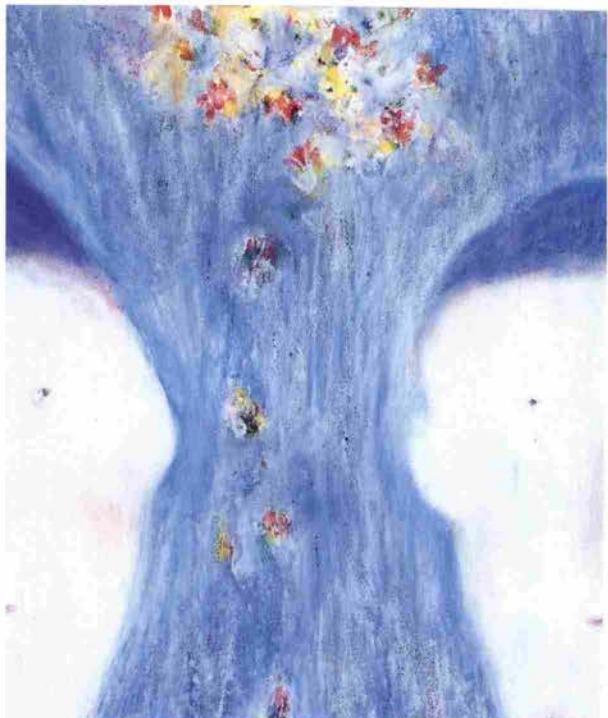
創業明治16年 金 柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL.341-1161
東京店 東京 帝国ホテル アーケード内 TEL.3503-7973

kansin street gallery <116>

—アート&クラフト'99—

第2回 高濱浩子



けはい



たかはま・ひろこ
(画家)
神戸市中央区在住

赤は熱。青は安らぎ。白は空。
黒は血であり肉である。人・
花・地…全ての者が同じ色
をもっている。生きることか
ら逃げではいけない。昨年、
神戸トアギャラリーにて「生
きる」をテーマに作品を発表。



“ベイシティバンクかんしん”
は「共感・対話・信頼」を企業
理念として、地域の文化・芸術
の育成に努めています。

この“かんしんストリートギ
ャラリー”も芸術の香りをほの
かに漂わせたアートスポットと
して、本年は「アート&クラフ
ト'99」と題したシリーズで様々
な作品を紹介してまいります。



生田駅前に面したストリートギャラリー



ふれあいウェーブ—ベイシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 TEL 650-0011
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙／元永定正「RON RON」

酒特集

scenery

18 神戸新百景〈10〉「日本一の酒どころ、灘」村上和子

poem

19 ポエム・ド・コウベ「夜の酒」安水穏和

essay

22

酔眼流旅日記〈30〉

「われ泣き濡れてフグと戯る」

村松友視 イラスト＝灘本唯人

talk

24

無駄ではなかった“青春の酒”

大森一樹 植松奎二 榎忠

talk&ranking

30

神戸酒徒番付'99選考座談会

東／経済人 木下 健 角田嘉宏 前田篤良
西／文化人 有井 基 岡田 弘 武田則明

34

神戸酒徒番付'99発表

Q&A

36

私の「酒亭」この1店

矢野正文 露の団六 石原暁美 大和松蔵 小室豊允
大垣圭介 貞松正一郎 新谷琢磨 玉岡かおる
松本幸三 村上和子

news

38

灘五郷瓦版

sake label

54

日本酒ラベル特集「灘の酒は日本一」



西田真人「KA・N・RA・N・SYA」

interview

11

こ う べ
神の扉、開けたまへ 町田 康

essay

70

私の有馬温泉〈2〉

ホームグラウンドでの対局 谷川浩司

short short

90

神戸25時・彼と彼女のアストロジー〈2〉

「みずがめの中のピアス」

玉岡かおる イラスト＝高濱浩子

series

20 オビニオン・インタビュー「神戸で買いましょう」鵜崎 功

41 浮世絵・忠臣蔵の世界 中右 瑛

42 KOBECO'99 馬場晶子 瀬戸口仁三郎

44 小室豊允の夢対談

「ビッグバンの時代に金融機関の果たす役割」園田正和

46 神戸のお嬢さん 森垣佳子 田中希代子

48 ある集い 神戸(ホスト)ライオンズクラブ 神戸日西協会

50 小間みか子のTASTYゴルフ「有馬カンツリー俱楽部」

67 おなじみプロフェッサーPの研究室 岡田 淳

68 コウペスナップ

72 Reportタカラヅカ「新生星組のカラーを」穂 稔

74 はるにゃんのHYOGO WALK

「おいしいごはんを食べよう県民運動」常深邦晃

76 亀井一成のズームインズ「哺乳ママとおんぶパパ」

78 神戸を福祉の街に

「子どものボランティア里親になりませんか?」橋本 明

79 KFSニュース「ファッショナーパーティー『胎動』」麻井美智子

80 中村友一の味な街「岡女堂」

81 ピット・イン

82 TOR ROADまちづくり「トアロードの名の由来は?」

84 イベント&プレゼント「MODERN CULTURE 9902」

86 ポケットジャーナル

89 啓介いろは歌「兄さんいろは歌」今井啓介／ヤジマンガ 9902

92 ルボ・神戸の工房をめぐる「灘酒づくりの名人」福元早夫

94 海 船 港 「さようなら、キングス・アームス」木村光理

96 吉野「山灯り展」と「山灯りフォーラム」千田要宗

99 愛読者プレゼント

100 北野ホットニュース「ゴディバ北野坂店」

102 神戸百店会MAP

104 神戸うまいもんランキングMAP

カメラ／米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志 シンイチ

安水 稔和
夜の酒



ポエム デ ハカベ (2月)

Photo by Teizou Yoneda

そつと流しこむと
ゆるりとめぐる。
目を閉じると
ゆつくりと体が揺れて。

水のように渡り
火のように這い。

風のように宙に舞い
土のように激しく匂う。

生きているんだなあ

声が出そう

今にも歌い出しそう。

そつと手の平にのせる

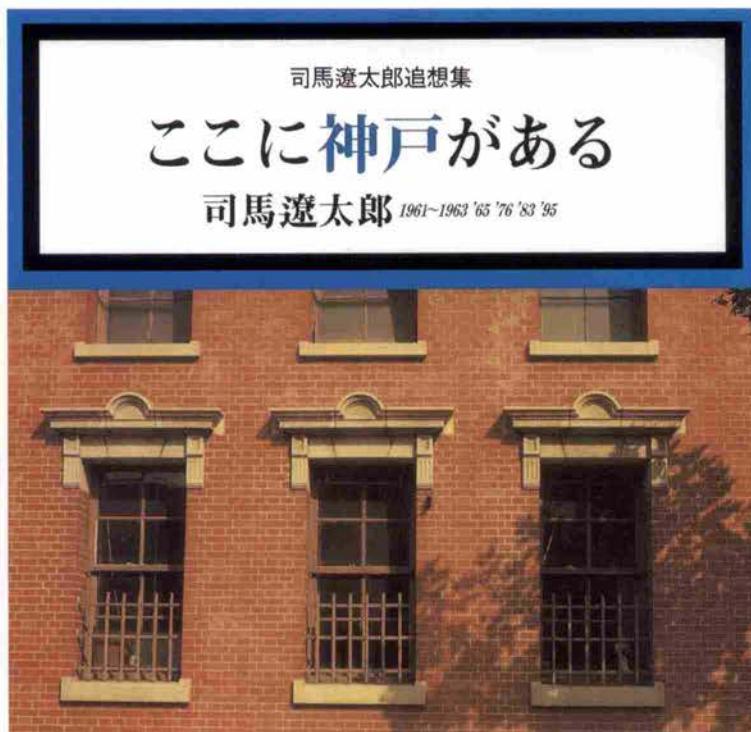
今日一日の歓びと

わざかばかりの悔い。



2月10日ついに発売!

全国有名書店にてお買い求めいただけます。



変型版 (タテ19.5cm・ヨコ20cm)・108ページ・定価2,000円(税込)

この一冊で神戸人の気質がよくわかる
(主に一九六一年から二年間にわたって「月刊神戸っ子」に連載されたものを一冊にまとめたものです)

◆田辺聖子、陳舜臣各氏からの思い出
を語るメッセージ。

◆36年、月刊神戸っ子創刊にあたり、
その船出を飾る司馬文学を再編成。
◆なつかしい神戸での写真も掲載。
◆未曾有の阪神淡路大震災のときいた
だいた激励文「世界にただ一つの神
戸」では、言葉が人を励ますことを
改めて知り、人々は立ちあがること
ができた。

◆「梶の城」で直木賞を受賞したこ
ろの司馬遼太郎が神戸をルポルタ
ージュ。



司馬遼太郎追想集

ここに神戸がある

司馬遼太郎 1961~1963 '65 '76 '83 '95

定価2,000円(税込)

1999年2月10日発行

著者 司馬遼太郎

発行者 小泉美喜子

発行所 有限会社月刊神戸っ子

〒650-0011兵庫県神戸市中央区下山手通3-1-18

ツインズタアビル4F

電話 (078) 331-2246 FAX (078) 331-2795

振替 01160-2-45196

発売所 コミュニティーサービス株式会社

こうべ
神の扉、開けたまへ
町田 康

〈作家・パンク歌手・詩人〉



小説処女作がいきなり芥川賞候補になった町田康さん。
どうしようもない男が繰り広げるどうしようもない物語は、
ブンガクを笑いのめしつつ、“語り物”として復権させた。
19歳でパンク歌手としてデビューし、映画に出演するなど
多彩な表現活動をつづける、その秘密とは？

撮影 池田年夫
構成 矢島 潤（本誌）

—今日は十手を用意したんです。

「うわあ(笑)。ここ10年ぐらい欲しくつて、買いたいかなきやなと思つてたんです(笑)」

—時代劇をよく見てらして、「屈辱ポンチ」にも小道具として出てきますね。

「そんなにマニアックを見てたわけじゃないんで、あんまりたいした意味はないんです(笑)。最近はあんまり見てる時間もないし…」

—お忙しいですか。

「自分が書くのが遅いので追いつかないところはあるんですけど…」

—小説だけでなく、多方面でご活躍ですか。

「大まかにいうと、書くことと俳優的なことと音楽の活動が中心になります」

—エッセイで「音楽も文学も、ただ分類の問題」で「ひとつ命や魂のなかで沸騰しているものは同じもの」と書かれています

その背後を含めて表現したい

—最近はステージに立たれていますか。

「詩や小説の朗読会はひとりでできますからたまにやるんですけども、音楽の舞台っていうのはリハーサルやほかのいろいろな手間がありますからちょっと時間がかかるので、ここ1年くらいご無沙汰してますねですが、決してもうやめたわけではありません」

—独特的の文体ですが、ひょっとして書

ましたが、沸騰の仕方に違いはあるんでしょうか。

「このテーマはこれ向きだとかあんまり考えて分けるつていうよりは、どうい

う「出方」をするつていうこと。例えば、ひとつの風景を見て歌にしたときと詩にしたときと小説にしたときと、まるで違うものをもしかしたら形づくついるかもしれないです。ひとつの風景を見て、いろんな側面からとらえるつていう

…」

—ジャンルによつて楽しさの違いはありますか。

「どの表現にしてもわりと大変な部分と、やつて快樂の部分、楽しい部分でいうのはどちらもあるんですけども、だからとりわけこれだけやつていれば楽しいとか苦しいとかはないですね。何をやつていても面白かつたり、大変だつたりします」

きますね。

「歌詞なんかでもいろいろ工夫してやつてるんですけども、ことばつていろんな表現ができますから、その時々の、例えば小説や詩の世界の中でいちばんハマることば、ひとつのことを言つたことがその背後にある言わなかつたことを含めて言えるつていうようなことばとなるべき選ぶようにしてます」

—独特のことばですね。

「…とさら難しくしようと思つたり変わつたことをやろうとしているわけではないんですけども、いちばんそこにハマることば、いちばん存在しててぴったりくる表現を心掛けてます」

—「江戸」と「なにわ」の交錯というか…。

「それも、ことさら関西出身で後に東京に移住したことを表現したいわけじゃないで、いちばん速やかに世界を表現できくて、いちばん速やかに世界を表現できるつていう…」

—そのときの気分というか世界を表現するためにフットと出てくる感じですか。

「…です」

—最近の歌でいうと「阿呆のソール」(アルバム「脳内シャツフル所収)が好きなんですか。

「…です」

—その歌でいうと「阿呆のソール」(ア

ルバム「脳内シャツフル所収)が好きなんですか。

「…です」

—その歌でいうと「阿呆のソール」(ア

ルバム「脳内シャツフル所収)が好きなんですか。

「…です」

—その歌でいうと「阿呆のソール」(ア

ルバム「脳内シャツフル所収)が好きなんですか。

「…です」

—その歌でいうと「阿呆のソール」(ア

ルバム「脳内シャツフル所収)が好きなんですか。

—その歌でいうと「阿呆のソール」(ア

「せつない歌だと思いますよ」

—東京で「関西の血」を感じることはありますか。

「ときどき関西に来て思うのは、会話が違うということですね。形式として、関西では必ずセッション的に会話するんですけど、東京だと弁論的というか、ひとりが意見を言つていいですかみたいなところはありますね。自分が大阪語の発想で面白いこと、くだらないこと(笑)を言つても、なかなか繋がつていかないと

いうか終わつてしまつというか(笑)」

—場が凍つてしまふんでしょうか。

「…です」

—誰もツツミしてくれないんですね。

「簡単にいうとそういうことです。会話つていう感じではないですね。非常にさ

びしい思いをしてます(笑)」

—息苦しいですか。

「そこまでいかないですけど、そんなこ

つちも別に重要なことを言つてるわけじゃないで(笑)」

—東京に行かれてどのくらいになりますか。

「もう10年くらい」

—その前が高槻でしたっけ。

「いや、いろいろあつちこつちと(笑)。いちばん長かったのが実家のある大阪の住吉区ですね」

—昔は新世界で酒とギャンブルに明け暮にしただけで、割と陳腐な歌です」

—アホ・ボケ・サルと、関西人の3大罵

すね」



—神戸にはよく来られるんですか。

「今回の『屈辱ポンチ』もそうですけど、挿画をいつもお願いしてて寺門孝之さんが神戸在住なんで、彼のところにふらっと遊びに行ったり、アトリエでうだうだしたり、そういうことはあります」

神戸のシーンは神戸のイメージ

—今度「神戸っ子」で対談をお願いします。

「そうですね(笑)」

—「アルバム」ほな、どないせえゆうね」「神の扉、開けたまへ」っていう曲が入ってましたね。

「あれはタイトルですから、歌は歌で独

立した世界があるんです。神戸、つまり神の扉を開けたらどうなるかというイメージから発想した曲です」

—地震を暗示してたりして(笑)。

「それはないと思います(笑)」

—神戸の嫌いなところはありますか。

「いや、好きなんですよ。神戸に来ると違うんですが、寺門さんところに来るとああいいなと思って」

—寺門さんも東京から神戸に帰つて来られて「光が違う」とおっしゃつてしまつた。

「ほんとに違うと思います。なんか僕がこう言うとあれでけど、神戸が非常に好きなんですね」

—おつきあいは長いんですか。

「ここで作家の柳美里さん登場。十手を見て笑う柳さん。ツーショットでの撮影を快諾していただく

—おつきあいは長いんですか。

「演劇の時代から、彼女が小説を書く直前ぐらいかな、なんか縁があつて。あまり小説を書くひとの知り合いはそんなに多くないんですけど」

—嫌いな小説家はいますか。嫌いなことは書きとていうか……。

「いや、音楽の場合は嫌いなものでも街で強引に耳に入つてきますけど、小説の場合は自分で本屋で買って読むわけですが。嫌いなものはないと思うんですけど、どんなひとでも(笑)」

—なるほど。神戸には筒井康隆さんも

まちだ・こう 1962(昭和37)年、大阪府堺市生まれ。高校時代より町田町蔵の名で音楽活動を開始。19歳で「メシ喰うな!」(バンド名INU)を発表。「爆烈都市(バースト・シティ)」「ロビンソンの庭」などの映画に出演し、詩人としても活躍。97年に発表した処女小説「くっすん大黒」でドウマゴ賞、野間文藝新人賞を受賞、芥川賞候補に。著書に「供花」「へらへらばっちゃん」「屈辱ポンチ」など

いらっしゃいますが。

「ドラマ賞でほくの小説（デビュー作「くっすん大黒」）を選んでいただいて、昔から読者でもあつたんで大変感激しま

した」
「今度「神戸っ子」で対談をお願いします（こなれぱっかり）。」
「いやあ（笑）」



「なんか縁があって」柳美里さんとは演劇時代からのおつきあいだという町田康さん

個人的にはパンク歌手としてもっと活動していただきたいんですが、CDの予定は？

「アイデアとかプランはたくさんあるんですけど、CDを作るのも時間がかかりますから、もうしばらくお待ちいただい、なんとか近い将来、形にしたいなと思ってます。まずコンサートをやりたいですね」

「最後に神戸へのメッセージをお願いします。」

「地震のときはテレビも新聞も見てなくて電話が掛かってきて驚愕したんですけど、その後まだ大変なこともあると思いしますので、あんまり私の立場から大変でしょうつてのもなんんですけど……」
「神戸の人間は基本的に明るくやっていますよ。」

「友人も多いんで、また機会があれば神戸でコンサートをやりたいと思つてますので、その節はみなさんいらしてください。それと「屈辱ポンチ」に入つての「けものがれ、俺らの猿」との中の坂を上つていくパレードのシーンは、半分くらいの神戸をイメージして書いたところもあるんで、神戸のみなさん「屈辱ポンチ」をもつと読んでいただきたいと思いまます（笑）」

「宣伝しておきます（笑）。ありがとうございます（98年12月12日、駿々堂神戸三宮店で）」



「屈辱ポンチ」文藝春秋
(挿画・寺門孝之)



「脳内シャッフル革命」ピクター
(撮影・荒木経惟)

●町田康（町田町蔵）のCD

「INU」「メシ喰うな」「徳間ジャパン」「やでらい殿」(PARCO SECTARY)

「ほな、どないせえやうね」(♂)

「腹ぶり」(徳間ジャパン)
「駐車場のヨハネ」(ピクター)

「どうにかなる」(ピクター)
「脳内シャッフル革命」(ピクター)

●町田康の本

「くっすん大黒」(文藝春秋)
「へらへらぼっちゃん」(講談社) *詩集
「供花」(思潮社) *エッセイ集
「天婦茶碗」(新潮社)
「屈辱ポンチ」(文藝春秋)

フェアリー
春の妖精の贈りもの



MORI
Pearls
Co. Ltd.

森真珠株式会社

本社 〒651-0093 神戸市中央区二宮町1丁目4-15

TEL (078) 241-2125(代)

2Fショールーム TEL (078) 222-5881(代)

(駐車場有り) 年中無休

オーバ店 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目

TEL (078) 262-2858(代)

2858(年中無休)

Memorial Wedding

～天使が舞い降りる日～

春のそよ風の中、
最高のはねえみを見せる花嫁
たったひとつの出会いをもたらしたのは
天使のいたずら？



ジュエリー 東 亜

トアロード店 神戸市中央区山本通3-14-15 TEL.078-222-5098
北野店 神戸市中央区山本通3-3-10 TEL.078-222-4366
大丸前店 神戸市中央区三宮町3-1-10 TEL.078-333-1120

ロマンチックな北野の式場

北野プラザ

六甲荘

神戸市中央区北野町1-1-14
TEL.078-241-2451 FAX.078-241-2497

チャペル&レストランウエディング

神仙閣
SHINSENKAKU

神戸市中央区下山手通2-13-1 (生田新道トアロード寄)
TEL.078-331-1263

Community & Resort Hotel
MAIKO VILLA

美しいロケーションを誇る
舞子ビラならではの
リゾートウェディングを
お届けします

コミュニティ&リゾート ホテル
舞子ビラ

TEL. 078-706-3711(代)
JR舞子駅東・徒歩10分

舞台は神戸 2人が主役のウェディング アルバムを

ビーナスブリッジ、北野異人館など二人の思い出のスポットで撮影するロケーションフォト(¥60,000~)をはじめ、スタジオでの記念撮影、挙式&披露宴のスナップ写真(¥70,000~)ビデオ撮影など、ご希望に合わせてご相談承ります。

三宮写真室

神戸市中央区中山手通2-24-8
TEL. 078-241-5530
9:00~18:00木曜定休



純白のドレスは
永遠のあこがれ…

みどり美粧院 **ミドリ衣裳店**

TEL. 078-334-1071 (2F) TEL. 078-334-1083 (1F)
神戸市中央区北長狭通1-10-5

花嫁の思いを
ドレスに託して

株式会社 つや衣裳店

最寄りの店舗をお気軽にご利用くださいませ。

神戸元町店	TEL. (078) 321-0360
神戸ポートピアホテル衣裳室	TEL. (078) 302-3378
神戸浜月堂88衣裳部	TEL. (078) 302-3378
ホテルゴーフル衣裳部	TEL. (078) 302-3378
桃会館衣裳室	TEL. (078) 382-0160
新神戸オリエンタルホテル衣裳室	TEL. (078) 262-2908
フライタルブティックアソルティ	TEL. (078) 992-3383
西神オリエンタルホテル衣裳室	TEL. (078) 321-0360
兵庫県民会館衣裳部	TEL. (078) 393-3320
レンタルブティック宴序衣	TEL. (078) 262-2708

和の美しさとあかりをテーマに

ご婚礼 1月~6月プラン
ほんのりときめく

ほのめき

40名様 ¥1,185,000より
(お一人様追加 ¥21,000より)

ご婚礼 7月~12月
卯の年プラン

はなうさぎ

40名様 ¥980,000
(お一人様追加 ¥17,000)

ここらの結婚式

西宮神社会館

西宮市社家町1-17
ご予約・お問い合わせは
TEL.(0798) 23-3311

本殿挙式、前撮り写真、和のコーディネート、パーティ形式のご披露宴等人気のプランもいろいろ

主役は私。

ウェディングの他にも卒業式・謝恩会などのご用命も承っております

衣裳セット ¥28,000より
(ヘア&着付パック料金)

美容室エリザベス

三宮本店 / 078-331-8894
住吉店 / 078-851-6388
営業時間 / 9:00~18:00
定休日 / 毎月曜・第1火曜・第3日曜

HAIR&FACE Elizabeth 株式会社
美容室 エリザベス

レンタルブティック
フォーマル&ウェディング **Elle** エル 三宮本店階上 / 078-331-3258



撮影／米田定藏